

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

観光政策課（内線：7637）→事業実施：文化政策課

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 全国万葉フェスティバル in 鳥取 開催支援事業	(3,000)	(0)	(3,000)				(3,000)	
トータルコスト	4,657千円（前年度 0千円）							
従事する職員数	正職員：0.2人							
主な業務内容	補助金業務、事業実施に関する支援など							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
<p>大伴家持が、因幡の国庁（鳥取市国府町）で万葉集最後の歌を詠んでから1250年を迎えるのを記念し、全国から万葉文化を愛し、親しむ人に参加をいただき、全国万葉フェスティバルを開催する。奈良県で平成22年に開催される平城遷都1300年記念事業等との連携を図り、相互PR等の取組を行う。</p>								
2 平成21年度事業費								
(1) 事業費 3,000千円（実行委員会補助金）								
(2) 事業の概要								
ア 実施主体 大伴家持顕彰実行委員会								
イ 補助事業の概要								
<ul style="list-style-type: none"> ・開催日 平成21年10月17日（土）～18日（日） ・開催場所 鳥取市国府町中央公民館大ホールなど ・内容 <ul style="list-style-type: none"> (1日目) <ul style="list-style-type: none"> ・オープニングセレモニー（行道） 万葉衣装によるパレード ・記念講演 「万葉集終焉から1250年」（仮題） 講師 奈良大学文学部教授 上野誠氏 ・シンポジウム「大伴家持が今、問いかけるもの」（仮題） ・万葉うたがかり記念コンサート ・万葉故地交流会 (2日目) <ul style="list-style-type: none"> ・万葉集朗唱の会 ・伎楽・雅楽公演（天理大学雅楽部、著名人による歌の読み上げ） ・曲水の宴 ・万葉故地めぐり 万葉と神話のふるさと因幡の旅 ・万葉食の提供 ・万葉短歌セミナー (その他) <ul style="list-style-type: none"> ・因幡万葉歴史館での特別展示 								
ウ 全体事業費								
7,400千円								
<ul style="list-style-type: none"> 鳥取市 3,400千円 鳥取県 3,000千円 参加料等 1,000千円 								

平成21年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費

5項 水産業費

水産課(内線:7316)

2目 水産業振興費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 全国豊かな海づくり 大会準備事業	4,782	0	4,782			<諸収入> 9	4,773	
トータルコスト	29,637千円 (前年度 0千円)							
従事する職員数	正職員:3.0人 非常勤職員:1.0人							
主な業務内容	全国豊かな海づくり大会鳥取大会の企画、広報							
事業内容の説明								
1 事業内容								
<p>(1)平成23年に開催予定の「全国豊かな海づくり大会」を鳥取県に誘致する。</p> <p>(2)水産課内に「全国豊かな海づくり大会準備担当」を置き、「全国豊かな海づくり大会鳥取県実行委員会」を組織する。</p> <p>(3)平成21年度は、大会にかかる基本構想、基本計画を策定し、大会のPR、広報を行う(大会テーマの募集等)。</p>								
2 大会概要								
<p>(1)大会名称 第31回全国豊かな海づくり大会 鳥取大会(仮称)</p> <p>(2)主催 豊かな海づくり大会推進委員会、全国豊かな海づくり大会鳥取県実行委員会</p> <p>(3)後援 農林水産省、環境省</p> <p>(4)開催時期 平成23年 秋頃(2日間)</p> <p>(5)開催場所 未定</p> <p>(6)行事概要 式典、放流行事、アトラクション、物産展、企画展示など</p> <p>①式典 表彰、作文、誓いの言葉など</p> <p>②放流行事 稚魚放流、漁船パレードなど</p>								
3 開催にあたっての基本的な考え方								
<p>○高速道路(鳥取自動車道)の開通から間もないタイミングで、鳥取県の魅力(例えば「食のみやこ鳥取県」の美しい環境の中で育てられた素晴らしい農林水産物や豊かな自然、温泉、歴史、芸術・文化)を全国に効果的に発信する大会とする。</p> <p>○ボランティアなど住民や関係団体等との協働、連携により、おもてなしの気持ちで、温かみのある大会とする。</p> <p>○創意工夫により可能な限り経費をかけないで、手作りの大会とする。</p> <p>○鳥取県の豊かな自然、環境を守り、育てていく気持ちを次の世代へ繋げる礎となる大会とする。</p> <p>○本県水産業の持続的・安定的発展のために、「資源の適切な管理」「つくり育てる漁業」「藻場造成活動による豊かな漁場づくり」の一体的推進に一層取り組み、未来を切り拓く大会とする。</p>								

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
 3 項 観光費
 1 目 観光費

観光政策課(内線：7237)
 (単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 山陰文化観光圏整備 事業	3,000	0	3,000				3,000	
トータルコスト	7,143千円 (前年度 0千円)							
従事する職員数	正職員：0.5人							
主な業務内容	協議会総会等の開催、共通事業の実施、構成団体との連絡調整							

事業内容の説明

1 事業の概要

鳥取県中部から島根県大田市にいたる観光地が連携して、2泊3日以上滞在型観光を推進するために、両県の観光関係団体、交通事業者、行政機関等で組織する山陰文化観光圏協議会に対して、負担金を交付する。(山陰文化観光圏は、平成20年10月観光庁より認定第1号を受ける。)

《山陰文化観光圏の概要》

(1) 観光圏の範囲

鳥取県：西部9市町村、中部5市町
 島根県：東部8市町村、大田市、隠岐4町村

(2) 観光圏のテーマ

「自然」、「神秘性・環境」、「歴史・文化」「癒し・スポーツ」、「食」等を核に、「ご縁で結ばれる、感動の旅」をキーワードとした圏域のイメージ作りを行う。

2 平成21年度事業費

(1) 事業費

3,000千円(負担金)

(2) 交付先

山陰文化観光圏協議会

(3) 主な事業

区 分	主 な 事 業	負 担 区 分
【共通事業】 協議会全体で取 組む事業	○ポータルサイトによる情報発信 ○二次交通マップの作成 ○観光客モニタリング調査 等	国庫補助金 (4/10) 両県負担金 (6/10)
【個別事業】 協議会構成団体 が個別に取組む 事業	○大山圏域の水をテーマとした新たな食と観光資 源による周遊ルート構築事業 ○レンタサイクル整備事業 ○観光圏人材育成事業 等	国庫補助金 (4/10) 構成団体自己資金 (6/10)

平成21年度一般会計当初予算説明資料

8款 土木費

2項 道路橋りょう費

1目 道路橋りょう総務費

道路企画課（内線：7351）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源	
(新)全国街道交流会議負担金	2,000	0	2,000				2,000	
トータルコスト	2,829千円（前年度 0千円）							
従事する職員数	正職員：0.1人							
主な業務内容	会議出席、負担金支払							
事業内容の説明								
<p>1 事業概要</p> <p>平成21年度の鳥取自動車道県内区間開通を記念して開催される「全国街道交流会議第7回全国大会鳥取大会」の実施に係る費用の一部を負担し、鳥取自動車道開通を契機にした地域間交流、地域づくりへの取組みを支援する。</p> <p>○大会概要</p> <p>(1) 日 時：平成21年11月13・14日</p> <p>(2) 場 所：とりぎん文化会館</p> <p>(3) 参加人数：約1,000人</p> <p>(4) 主 催：全国街道交流会議第7回全国大会「鳥取大会」実行委員会(会長：鳥取市長)</p> <p>(5) 内容(想定)：</p> <p>テーマ「街道と地域再生」</p> <p>①フォーラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネルディスカッション：テーマ「街道と地域再生」(仮題) ・分科会 <p>②現地見学会</p>								
<p>2 事業内容</p> <p>○平成21年度事業費 6,000千円（うち鳥取県負担金2,000千円）</p> <p>[負担内訳]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県 2,000千円 ・鳥取市 2,000千円 ・姫鳥線期成同盟会 1,000千円 ・参加費 1,000千円 								
<p>3 参考</p> <p>○実行委員会の構成</p> <p>会 長：鳥取市長</p> <p>副会長：鳥取商工会議所会頭、NPO法人全国街道交流会議代表理事</p> <p>顧 問：鳥取・岡山・兵庫県知事、中国及び関西経済連合会会長</p> <p>委 員：沿線各市町村長、各県土木・商工・観光担当部局長、経済界代表ほか</p> <p>オブザーバー：国土交通省中国地方整備局長ほか</p> <p>○平成20年度事業（9月補正予算で県負担分500千円計上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内 容：事前勉強会(講演) ・事業費：1,000千円（鳥取県500千円、鳥取市500千円） 								

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

1 項 総務管理費

関西本部（電話：06-6341-3955）

9 目 県外事務所費＜地方機関計上予算＞

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																					
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																						
「めっちゃ行きたい鳥取県」魅力発信事業	20,000	8,470	11,530				20,000																						
トータルコスト	41,541千円（前年度 19,507千円）																												
従事する職員数	正職員：2.6人																												
主な業務内容	企画調整業務、関係者との連絡調整、イベント作業、契約事務など																												
説 明																													
<p>1 事業の概要</p> <p>関西圏のマスコミ媒体（テレビ、ラジオ、新聞、雑誌）を活用した情報発信やイベント実施を通して、鳥取県の魅力（観光地、因幡の祭典、鳥取自動車道、食のみやこ、産業など）をあらゆる角度からPRし、誘客や移住定住の促進を図る。</p>																													
<p>2 主な事業内容</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>所要額</th> <th>事 業 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高速道路サービスエリアを活用したPR（新規）</td> <td>12,600</td> <td>西日本高速道路サービスホールディングス株式会社（NEXCO）が管理する高速道路サービスエリアで、観光情報を発信する。 ・同社が発行するフリーペーパーへの広告掲載（年5回程度） ・観光PR映像の放映（年5回程度） ・リーフレットの配架及びポスターの掲示（年5回程度）</td> </tr> <tr> <td>マスコミ等を活用したPR</td> <td>5,299</td> <td>【テレビを活用したPR】 ○観光PR番組の放送（年4回程度） ・観光スポット、特産品、宿泊施設等の紹介番組を放送 【ケーブルテレビを活用したPR】 ○観光PR番組の放送（年2回程度） 【ラジオを活用したPR】 ○マスコミキャラバンでの生出演による情報発信（年4回程度） ・スイカ、梨などの特産品をPR 【新聞、雑誌を活用したPR】 ○観光PR広告の掲出（年6回程度） ○現地取材の誘致（年6回程度） 【パブリシティを活用したPR】 ○マスコミキャラバンの実施（年10回程度） ○イベント情報、特産品情報等の提供（随時） 【その他の手法によるPR】 ○旅行エージェントに対する商品造成の働きかけ（随時）</td> </tr> <tr> <td>ミニ観光展の開催</td> <td>800</td> <td>神戸駅周辺でミニ観光展を開催する（年1回）</td> </tr> <tr> <td>意見交換会等の開催</td> <td>—</td> <td>県ゆかりのマスコミ関係者との意見交換会や観光情報等を提供する情報説明会を開催（標準事務費での対応）</td> </tr> <tr> <td>標準事務費</td> <td>1,301</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>20,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区 分	所要額	事 業 内 容	高速道路サービスエリアを活用したPR（新規）	12,600	西日本高速道路サービスホールディングス株式会社（NEXCO）が管理する高速道路サービスエリアで、観光情報を発信する。 ・同社が発行するフリーペーパーへの広告掲載（年5回程度） ・観光PR映像の放映（年5回程度） ・リーフレットの配架及びポスターの掲示（年5回程度）	マスコミ等を活用したPR	5,299	【テレビを活用したPR】 ○観光PR番組の放送（年4回程度） ・観光スポット、特産品、宿泊施設等の紹介番組を放送 【ケーブルテレビを活用したPR】 ○観光PR番組の放送（年2回程度） 【ラジオを活用したPR】 ○マスコミキャラバンでの生出演による情報発信（年4回程度） ・スイカ、梨などの特産品をPR 【新聞、雑誌を活用したPR】 ○観光PR広告の掲出（年6回程度） ○現地取材の誘致（年6回程度） 【パブリシティを活用したPR】 ○マスコミキャラバンの実施（年10回程度） ○イベント情報、特産品情報等の提供（随時） 【その他の手法によるPR】 ○旅行エージェントに対する商品造成の働きかけ（随時）	ミニ観光展の開催	800	神戸駅周辺でミニ観光展を開催する（年1回）	意見交換会等の開催	—	県ゆかりのマスコミ関係者との意見交換会や観光情報等を提供する情報説明会を開催（標準事務費での対応）	標準事務費	1,301		合 計	20,000	
区 分	所要額	事 業 内 容																											
高速道路サービスエリアを活用したPR（新規）	12,600	西日本高速道路サービスホールディングス株式会社（NEXCO）が管理する高速道路サービスエリアで、観光情報を発信する。 ・同社が発行するフリーペーパーへの広告掲載（年5回程度） ・観光PR映像の放映（年5回程度） ・リーフレットの配架及びポスターの掲示（年5回程度）																											
マスコミ等を活用したPR	5,299	【テレビを活用したPR】 ○観光PR番組の放送（年4回程度） ・観光スポット、特産品、宿泊施設等の紹介番組を放送 【ケーブルテレビを活用したPR】 ○観光PR番組の放送（年2回程度） 【ラジオを活用したPR】 ○マスコミキャラバンでの生出演による情報発信（年4回程度） ・スイカ、梨などの特産品をPR 【新聞、雑誌を活用したPR】 ○観光PR広告の掲出（年6回程度） ○現地取材の誘致（年6回程度） 【パブリシティを活用したPR】 ○マスコミキャラバンの実施（年10回程度） ○イベント情報、特産品情報等の提供（随時） 【その他の手法によるPR】 ○旅行エージェントに対する商品造成の働きかけ（随時）																											
ミニ観光展の開催	800	神戸駅周辺でミニ観光展を開催する（年1回）																											
意見交換会等の開催	—	県ゆかりのマスコミ関係者との意見交換会や観光情報等を提供する情報説明会を開催（標準事務費での対応）																											
標準事務費	1,301																												
合 計	20,000																												
（上記計画は現時点での予定。実施段階でより効果的な宣伝媒体があれば、随時、媒体変更する。）																													

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
2目 計画調査費

文化政策課（内線：7843）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	備考
日本のまつり・2009鳥取開催事業	90,524	4,131	86,393				90,524	
トータルコスト	136,920千円（前年度17,833千円）							
従事する職員数	正職員：5.6人							
主な業務内容	実行委員会の運営、開催に関する事務（実施設計、運営計画等、出演者・動員者の調整、大会運営）、広報宣伝活動							

事業内容の説明

全国の地域伝統芸能を一堂に集める国内最大の伝統芸能の催事を開催し、地域伝統芸能を地域資源として次世代に継承し、これを活用することによる地域活性化の契機として発信する。

鳥取県開催のポイント

- ・次世代への文化継承を重視した全体構成（2会場で、出演者を青少年に限定した日を設定）
- ・海外の交流地域、関西・山陽・四国地域からの参加を優先（海外出演団体過去最多）
- ・県民の手による祭典の実施（企画・運営に県内伝統芸能団体が参画、県内140団体超の出演）
- ・鳥取県の多様な魅力を同時に発信（食のみやこ鳥取県フェスタとの連携開催）

1 事業の概要

(1) 名称

日本のまつり・2009鳥取

（第17回地域伝統芸能全国フェスティバルとっとり、第9回地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会とっとり）

(2) 主催及び運営主体

主催：鳥取県、鳥取市、財団法人地域伝統芸能活用センター

運営主体：日本のまつり・2009鳥取実行委員会 ※主催者と関係団体で実行委員会を組織

(3) 開催期間

平成21年10月10日（土）～10月11日（日）※10月9日（金）前夜祭

2 平成21年度事業費

事業	内容	事業費	県負担	備考	
実行委員会事業	とりぎん文化会館 梨花ホール	○開催記念式典 ・高円宮殿下記念地域伝統芸能賞等表彰式 ○メインステージ ・受賞団体のほか国内有数の伝統芸能の公演 ・アジア各地域による伝統芸能公演 ・因幡の傘踊り等県を代表する伝統芸能の公演	138,153	84,153	地域伝統芸能活用センター 34,000 鳥取市 20,000
	展示室等	○地域伝統工芸展、観光物産展			
	コ・コアウエスト スポーツパーク 県民体育館	○アリーナステージ ・とりぎん文化会館の公演団体に加え、アリーナステージならではの伝統芸能の公演 《「食のみやこ鳥取県フェスタ」と連携開催》			
	若桜街道	○前夜祭パレード ・麒麟獅子舞等県内芸能特別編成パレード ○おまつりパレード（御幸行列ほか） ○フィナーレパレード ・秋田竿燈と米子がいな万灯の共演 ・関西、中四国、アジア各地域による交流パレード			
	鳥取駅前 風紋広場	○県民オンステージ ・公募による伝統芸能公演			
奉迎対策費		5,295	5,295	県 10/10	
県推進事務費		1,076	1,076	県 10/10	
合計		144,524	90,524		

<参考：スケジュール>

H20年5月 地方実行委員会（企画委員会、分科会）の設置

21年2月 中央実行委員会の設置

基本計画の決定

5月 実施計画の決定

10月 日本のまつり・2009鳥取 開催

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

観光政策課（内線：7637）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
山陰海岸世界ジオパークネットワーク加盟推進事業	12,957	2,850	10,107				12,957	
トータルコスト	17,100千円（前年度 6,656千円）							
従事する職員数	正職員：0.5人							
主な業務内容	負担金、補助金交付事務、県内学術分会の運営、ジオツアーの実績づくりに関する事業、普及・啓発事業の実施							
事業内容の説明								
<p>1 事業の概要</p> <p>山陰海岸国立公園を中心としたエリアの世界ジオパークネットワーク加盟に向けて、関係自治体、民間団体等が中心となり設立した「山陰海岸ジオパーク推進協議会」に対し、負担金を交付し、連携して事業を行っていく。</p> <p>また、県内学術部会の運営、ジオツアーの実績づくり、県内機運醸成のため、鳥取市、岩美町と連携した普及・啓発活動等を行い、平成22年中の世界ジオパークネットワーク加盟を目指す。</p> <p>2 平成21年度事業費</p> <p>(1) 「山陰海岸ジオパーク推進協議会」への負担金 1,786千円 協議会で実施する主な事業（予算額11,581千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオパーク推進フォーラムの開催（京都府京丹後市開催） ・ジオガイドブック（外国語版）の作成 ・ボランティアガイド養成講座の実施 ・ジオパーク検定の実施 など <p>(2) 学術部門の強化に要する経費 1,364千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学術関係鳥取分会運営経費 <p>(3) ジオツアーの実績づくりに要する経費 2,580千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデルツアーの実施 ・小・中学校での地質観察会実施に対する支援 ・鳥取・兵庫両県によるジオ学習ツアーの開催に対する支援（定額補助：50万円上限） <p>(4) 受入態勢の整備に要する経費 5,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオパーク案内板整備補助金（市町村、団体等が行う看板整備に対し1/2補助） <p>(5) 県内の機運醸成に要する経費等 2,227千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォーラムの開催、ラッピングバス運行、チラシの作成 <p>(参考)</p> <p>1 世界ジオパークネットワークとは</p> <p>◇ジオパークは、地質遺産を含む一種の自然公園で、地質遺産を保護し研究に活用するとともに、教育や地域の振興に活かすことが目的。</p> <p>◇ユネスコの支援により、2004年に世界ジオパークネットワーク（事務局：ユネスコの生態・地球科学部門）が設立。（現在、中国、ヨーロッパを中心に57カ所が加盟。日本では、平成20年度に3地域が初めて加盟に向けた申請書を提出。）</p> <p>2 加盟によるメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地質遺産としての質の高さが保証される。 ・世界的な知名度が高まる。 <p>3 山陰海岸ジオパーク推進協議会の概要等</p> <p>◇役員：会長 中貝 宗治（豊岡市長） 副会長 竹内 功（鳥取市長）、中山 泰（京丹後市長） 幹事長 馬場 雅人（新温泉町長）</p> <p>◇設立：平成19年7月16日</p> <p>◇構成員：行政、商工団体、観光団体、漁協、遊漁船会社等36団体</p> <p>*行政は、3府県（京都府、兵庫県、鳥取県）、3市3町（京丹後市、豊岡市、新温泉町、香美町、鳥取市、岩美町）が参加。</p> <p>◇山陰海岸は「日本ジオパーク」に認定される。（平成20年12月）</p>								

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

観光政策課（内線：7238）

1 目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
もてなしの心醸成事業	1,734	1,392	342				1,734	
トータルコスト	10,019千円（前年度 7,787千円）							
従事する職員数	正職員：1.0人							
主な業務内容	事業設計、市町村や関係機関との連絡調整							
事業内容の説明								
<p>1 事業の概要</p> <p>観光立県の実現に向けて県民の主体的参加を促進するため、地域（小さなエリア）における観光関係者や地域住民等が一体となったもてなし向上に向けた取組みに対して支援するとともに、観光ボランティアガイドの資質向上や発展を図る。</p> <p>2 平成21年度事業費</p> <p>(1) もてなしの心醸成ワーキングの実施（1,392千円）</p> <p>観光関係者や地域住民等が連携して、ホスピタリティー溢れる観光地（地域）づくりに向けた検討会を開催する場合に、専門家派遣等の支援を行う。</p> <p>ア 検討テーマ：観光客の視点から見たもてなし（観光地づくり）等</p> <p>イ 出席者：観光関係者、ボランティアガイド、地域づくり実践者 地域住民（自治会）、市町村観光協会、市町村担当課 等</p> <p>ウ 開催箇所：6地域を予定</p> <p>エ その他：平成20年度から各市町村（又は観光地）を単位として実施</p> <p>(2) (新規) 鳥取県観光ボランティア連絡会（仮称）の設置（342千円）</p> <p>県内の観光ボランティアガイド団体の連絡会を設置し、相互に情報支援等を行うことにより、ボランティアガイドの資質向上や発展を図る。</p> <p><連絡会の実施事務></p> <p>①ボランティアガイドの意義、役割等についての講演会を開催</p> <p>②資質向上のための実地研修会（2回）を開催</p>								

平成 2 1 年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

観光政策課 (内線 : 7 2 3 9)

1 目 観光費

(単位 : 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
心に残る映画ロケ 協働推進事業	2,841	3,053	△ 212				2,841	
トータルコスト	5, 3 2 7 千円 (前年度 4, 9 5 6 千円)							
従事する職員数	正職員 : 0. 3 人							
主な業務内容	補助金交付事務							

事業内容の説明

1 事業の概要

映画やテレビドラマ等により本県の魅力を県内外へ情報発信するため、NPO 法人とっとりフィルムコミッションの活動に対して支援を行う。

2 平成 2 1 年度事業費

(単位 : 千円)

区 分	事業費	内 容
誘致活動への 支援	3 0 0	NPO 法人とっとりフィルムコミッションの ロケ誘致活動に係る経費を支援
ロケへの助成金	7 0 0	・映画・連続ドラマ 1 番組当たり 200 千円 ・短編ドラマ・番組 1 番組当たり 100 千円 ・テレビCM・雑誌 1 番組当たり 50 千円
(新) ロケーション ガイド作成	9 6 0	本県でのロケを誘致するため、県内のロケ候補地 の情報が網羅されたロケーション ガイドの作成 経費を助成 ・補助率 : 10/10 ・作成部数 : 1,000 部
標準事務費	8 8 1	
合 計	2, 8 4 1	

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

観光政策課（内線：7237）

1目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
広域観光連携推進事業	5,850	5,750	100				5,850	
トータルコスト	9,164千円（前年度7,272千円）							
従事する職員数	正職員：0.4人							
主な業務内容	広域的な誘客活動、連絡調整等							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
他府県の観光関係団体等と圏域を越えた連携協力を行うことにより、それぞれの魅力を活かした一体的な観光地づくりや効率的な情報発信を行う。								
2 平成21年度事業費 （単位：千円）								
区 分	事業費	内 容						
(新)鳥取・岡山観光連携事業	1,000	岡山県との連携により、PRツール作成、共同プロモーションを行う。 総事業費2,000千円（本県負担：1,000千円）						
京都・兵庫・鳥取三府県広域観光連絡会議	1,000	三府県の広域観光ルート情報等を、共通の観光PRサイトにより情報発信する。 総事業費3,000千円（本県負担：1,000千円）						
因幡・但馬広域観光キャンペーン推進事業	500	鳥取県・兵庫県・関係市町村・民間が連携して広報宣伝等の誘客対策を実施する。 〔総事業費2,000千円（本県負担：500千円）〕						
ひょうご・とっとりツーリズムバス事業	600	兵庫県及び鳥取県以外の居住者が、団体で貸切バスを使って所定の観光施設を訪れる場合、バス借上料の一部をひょうごツーリズム協会を通じて助成する。						
県推進事務費	2,750	広域連携に向けた推進事務費等						

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

1 項 総務管理費

東京本部 (03-5212-9077)

9 目 県外事務所費 (地方機関計上予算)

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「鳥取いいとこ、来てごしない」推進事業	1,163	1,246	△83				1,163	
トータルコスト	3,649千円 (前年度 3,530千円)							
従事する職員数	正職員：0.30人							
主な業務内容	地域学講座の開設、シンポジウムの開催、大学との連絡調整							
説 明								
<p>1 事業の概要</p> <p>首都圏の大学における近隣県との連携地域学講座の開設やシンポジウム開催への協力を通じて、本県の歴史、文化、観光等の情報を発信し、認知度向上を図る。</p> <p>また、山陰文化観光圏をはじめとする広域観光ルート整備の促進を図るため、地域学講座に連動した現地視察旅行を企画し、本県への誘客を図る。</p>								
<p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 地域学講座の開設と現地視察の実施 (継続) 【672千円】</p> <p>隣県の島根県、岡山県と連携し、共通テーマによる地域学講座を開設するとともに、テーマに即した現地視察旅行を企画して地元への誘客を図る。</p> <p>(ア) 島根県との連携講座開催 (新規)</p> <p>山陰文化観光圏の整備促進を図るため、島根県との連携による地域学講座を開設し、あわせて講座テーマに連動した現地視察旅行を企画する。</p> <p>【想定テーマ】山陰の古代神話と古代史、山陰の弥生遺跡、出雲街道</p> <p>【講座内容】講義2回、現地視察旅行(鳥取・島根) 2泊3日</p> <p>【講師】鳥取県、島根県から1名ずつ人選・派遣</p> <p>【会場】東海大学</p> <p>【定員】60名～100名程度</p> <p>【開催時期】秋</p> <p>(イ) 岡山県との連携講座開催 (継続)</p> <p>広域周遊ルートの整備促進を図るため、岡山県との連携による地域学講座を開設し、あわせて講座テーマに連動した現地視察旅行を企画する。</p> <p>【想定テーマ】豊臣秀吉の中国攻めー鳥取城、備中高松城ー、後醍醐天皇と鎌倉幕府倒幕</p> <p>【講座内容】講義2回、現地視察旅行(鳥取・岡山) 2泊3日</p> <p>【講師】鳥取県、岡山県から1名ずつ人選・派遣</p> <p>【会場】東海大学</p> <p>【定員】60名～100名程度</p> <p>【開催時期】秋</p>								
<p>(2) 相模女子大学との連携によるシンポジウム開催 (継続) 【491千円】</p> <p>相模女子大学人間社会学部社会マネジメント学科の学生による「地域ブランド」研究の素材に鳥取県(牧畜業、農林水産業、観光、町づくり等の情報)を提供し、研究発表やシンポジウム等への開催協力を通じて、学生や地域住民に対する観光物産情報の発信を行う。</p> <p>【研究テーマ】地域ブランド</p> <p>【開催時期】秋</p>								

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

1項 総務管理費

東京本部 (03-5212-9077)

9目 県外事務所費<地方機関計上予算>

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
首都圏情報発信事業	3,690	4,281	△591				3,690	
トータルコスト	16,118千円 (前年度 14,938千円)							
従事する職員数	正職員：1.50人、非常勤職員：0.10人							
主な業務内容	マスコミ等への観光等情報提供							

説 明

1 事業の概要

- ・目的 本県の様々な魅力をマスコミに露出し、また、旅行商品に組み込まれることにより、本県への誘客の促進を図る。
- ・概要 本県の観光、特産品、文化、歴史などの魅力を効果的かつタイムリーに発信するため、首都圏のマスコミ及びエージェンツに対して、観光プロモーターとともに各種情報提供、PRキャラバンなどを実施する。また、鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」のPRをマスコミ及びイベントを通じて実施する。

2 主な事業内容

(単位：千円)

区 分	所要額	事 業 内 容
マスコミ(テレビ局、雑誌、新聞等)への情報提供	2,844	<ul style="list-style-type: none"> ・マスコミの県内招致旅番組、旅行雑誌等への番組制作、記事掲載のための県内招致の働きかけ ・マスコミPRキャラバン スイカ(6月)、梨(9月)、松葉ガニ(12月)の旬の時期に新聞等への掲載の働きかけ ・新聞、雑誌等での読者プレゼント らっきょう、すいか、梨、松葉がに等のプレゼント企画を新聞等で実施 ・アンテナショップを絡めたPR アンテナショップ関連の記事掲載の働きかけ
旅行エージェンツへの情報提供	225	<ul style="list-style-type: none"> ・観光説明会の開催 商品造成担当者及び販売担当者への観光素材の説明 ・旅行エージェンツの県内招致 旅行商品造成のための県内招致の働きかけ
イベントへの参加及び各種活動支援	621	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントへの参加による本県の魅力及びアンテナショップのPR ・県内関係者のイベントの実施・参加等に伴う活動支援
合 計	3,690	

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

1 項 総務管理費

東京本部 (03-5212-9077)

9 目 県外事務所費 (地方機関計上予算)

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県・明治大学 連携講座開催事業	1,000	1,000	0				1,000	
トータルコスト	2,657千円 (前年度 1,761千円)							
従事する職員数	正職員：0. 20人							
主な業務内容	講座の開設、明治大学との連絡調整、負担金支払							
説 明								
<p>1 事業の概要</p> <p>明治大学（創立者の一人岸本辰雄が鳥取県出身）に鳥取県・明治大学連携講座を開設し、本県の歴史・文化等に関する講座並びに本県でのフィールドワークを実施する。</p> <p>※当該事業は平成17年度から実施。</p> <p>※平成20年度には、明治大学と鳥取県の連携事業として、「広域連携による地方活性化のための潜在的な社会参加ニーズ対応就労促進プログラム」（文部科学省の「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」）を下記のとおり県内で実施。</p> <p>事業名：「とっとりグランマ倶楽部」結成プロジェクト 内 容：6月7日～11月22日に鳥取市内にて「鳥取県発見講座」「地域貢献の現状を学ぶ」等の講座を実施し、最後の講座にてプレゼンテーションを実施。</p>								
<p>2 主な事業内容</p> <p>○実施時期 講座（10月～12月）、フィールドワーク（10月下旬）</p> <p>○講座</p> <p>鳥取県の弥生時代・古墳時代について 講師：明大教授他 ※鳥取県の弥生時代・古墳時代の遺跡等を講座形式で紹介。 「まんが王国とっとり」について 講師：明大教授他 ※境港市出身の水木しげる氏について、また境港市の「水木しげるロード」等を講座形式で紹介。</p> <p>○フィールドワーク（1回） 弥生時代・古墳時代の遺跡を講師と共に訪問・見学。 訪問先（案）：妻木晩田遺跡、青谷上寺地遺跡、梶山古墳、三明寺古墳、向山古墳等。</p> <p>○募集人数 各講座 100名（合計200名） フィールドワーク 40名</p>								

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

1項 総務管理費

関西本部（電話：06-6341-3955）

9目 県外事務所費＜地方機関計上予算＞

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「子どもが遊びたくなる鳥取県」魅力発信事業	6,177	5,947	230				6,177	
トータルコスト	11,148千円（前年度 11,808千円）							
従事する職員数	正職員：0.6人							
主な業務内容	企画調整業務、イベント作業、契約事務など							
説 明								
<p>1 事業の概要</p> <p>鳥取県の魅力を関西の子どもたちをターゲットに訴えかけることによって、県に対する好感度の向上を図り、観光客や移住定住者を増加させるため、関西圏の集客力が高い施設で情報発信イベントを開催する。</p>								
<p>2 主な事業内容</p> <p>【NHK大阪放送局での情報発信イベントの開催】 4,345千円</p> <p>○日 時 平成21年7月の夏休み期間（5日間）</p> <p>○場 所 NHK大阪放送会館（大阪市中央区）</p> <p>○コンセプト</p> <p>「子どもが遊びたくなる鳥取県＝大人が行きたくなる鳥取県」</p> <p>「鳥取の豊かな自然や伝統文化を関西の子どもたちへ発信」</p> <p>「子育てしやすい鳥取県＝移住定住の促進」</p> <p>○主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取をテーマとした体験メニュー （流しびなの手づくり体験、砂丘の砂を使った砂絵体験、砂丘の成り立ち学習など） ・「まんが」等を活用した鳥取の魅力PR ・伝統芸能披露 ・鳥取の昔話読み聞かせ ・ステージイベント（子ども向けゲーム、県内の各イベントPR） ・「鳥取の風景」写真展示 ・民芸品の展示 ・ワークショップ（因州和紙手漉き体験、和紙を使った折り紙体験） ・移住定住相談コーナーの設置 ・観光ツアーデスクの設置 <p>【関西で実施するイベントで使用する着ぐるみの制作】（新規） 500千円</p> <p>イベントの来場者に対して、より強く「鳥取県」を印象づけるため、鳥取県妖怪観光大使である「ゲゲの鬼太郎」の着ぐるみを1体制作する。</p> <p>○標準事務費 1,332千円</p>								

平成 2 1 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

1 項 総務管理費

名古屋本部（電話：052-262-5411）

9 目 県外事務所費<地方機関計上予算>

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																		
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																			
名古屋本部情報発信事業	3,704	3,782	△78				3,704																			
トータルコスト	13,646千円（前年度12,916千円）																									
従事する職員数	正職員：1.2人、非常勤職員：0.5人																									
主な業務内容	情報発信・県産品販路開拓への支援・観光客誘致促進活動等																									
説 明																										
<p>1 事業の概要</p> <p>鳥取県の魅力が知られていない中、マスコミ等とのつながりを深め、それを活用した継続的な発信機会の獲得を図り、また市民が参加するイベントへの参加等により本県の鳥取県の魅力を発信し、認知度の向上を図る。</p> <p>鳥取県の素材情報を有していない旅行会社や百貨店などへ観光素材や県産品の取扱いを働きかけ、本県への旅行や県産品購入機会の実現を図る。同時に一般への旅行や購入の喚起を図る。</p>																										
<p>2 主な事業内容 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>事 業 内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マスコミ等を活用した情報発信</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 報道機関へのニュースリリース マスコミ担当者の鳥取招致による現地取材と記事掲載 マスコミへのお知らせ欄での掲載や読者プレゼント企画への採用の働きかけとその発信 </td> <td>830</td> </tr> <tr> <td>イベント参加</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 多くの市民が集まるイベントや物産展等へ参加、協力し、直接本県魅力を発信 </td> <td>2,514</td> </tr> <tr> <td>県産品PR</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 中京圏における動向や物産展情報の把握、県産品の販売状況の把握 百貨店等の情報提供や催事開催への協力を行う </td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>観光客誘致促進活動</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 鳥取県観光連盟との連携し、旅行会社への旅行商品企画化の働きかけや一般への旅行喚起 <ul style="list-style-type: none"> 旅行会社への訪問による情報提供や動向収集 観光情報説明会への参加 旅行会社担当者の鳥取県招致研修 旅行会社店舗内での鳥取県PR </td> <td>260</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>3,704</td> </tr> </tbody> </table>									項 目	事 業 内 容	事業費	マスコミ等を活用した情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 報道機関へのニュースリリース マスコミ担当者の鳥取招致による現地取材と記事掲載 マスコミへのお知らせ欄での掲載や読者プレゼント企画への採用の働きかけとその発信 	830	イベント参加	<ul style="list-style-type: none"> 多くの市民が集まるイベントや物産展等へ参加、協力し、直接本県魅力を発信 	2,514	県産品PR	<ul style="list-style-type: none"> 中京圏における動向や物産展情報の把握、県産品の販売状況の把握 百貨店等の情報提供や催事開催への協力を行う 	100	観光客誘致促進活動	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取県観光連盟との連携し、旅行会社への旅行商品企画化の働きかけや一般への旅行喚起 <ul style="list-style-type: none"> 旅行会社への訪問による情報提供や動向収集 観光情報説明会への参加 旅行会社担当者の鳥取県招致研修 旅行会社店舗内での鳥取県PR 	260	合 計		3,704
項 目	事 業 内 容	事業費																								
マスコミ等を活用した情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 報道機関へのニュースリリース マスコミ担当者の鳥取招致による現地取材と記事掲載 マスコミへのお知らせ欄での掲載や読者プレゼント企画への採用の働きかけとその発信 	830																								
イベント参加	<ul style="list-style-type: none"> 多くの市民が集まるイベントや物産展等へ参加、協力し、直接本県魅力を発信 	2,514																								
県産品PR	<ul style="list-style-type: none"> 中京圏における動向や物産展情報の把握、県産品の販売状況の把握 百貨店等の情報提供や催事開催への協力を行う 	100																								
観光客誘致促進活動	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取県観光連盟との連携し、旅行会社への旅行商品企画化の働きかけや一般への旅行喚起 <ul style="list-style-type: none"> 旅行会社への訪問による情報提供や動向収集 観光情報説明会への参加 旅行会社担当者の鳥取県招致研修 旅行会社店舗内での鳥取県PR 	260																								
合 計		3,704																								

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

観光政策課（内線：7239）

1目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ニューツーリズム普及促進事業	1,955	1,955	0				1,955	
トータルコスト	10,240千円（前年度 10,109千円）							
従事する職員数	正職員：1.0人							
主な業務内容	講演会、協議会設立・運営、市町村や関係機関との調整							
事業内容の説明								
<p>1 事業の概要</p> <p>旅行者のニーズが見学型から体験型、学習型へ変化する中、滞在型観光の推進を図るため、グリーンツーリズムやエコツーリズム等のニューツーリズムの普及啓発を図るとともに、受入地域の体制整備を行う。</p> <p>2 平成21年度事業費</p> <p>(1) エコツーリズムの推進（590千円）</p> <p>エコツーリズム推進法に基づいて市町村が推進する協議会の設立及び全体構想の策定等の取組を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコツーリズム推進セミナーの開催 ・エコツーリズム推進協議会の設立及び運営に係る支援 <p>(2) 「体験型観光推進育成講座」の開催（820千円）</p> <p>ニューツーリズムに関する普及啓発と受入体制づくりを推進するため、ニューツーリズムを推進する地域や導入を検討する地域で、地域の核となる人材の育成を主眼に置いた「体験型観光推進育成講座」を開催する。（県内5箇所で開催予定）</p> <p>(3) 体験型教育旅行向けメニューの検証（545千円）</p> <p>教育旅行の誘致を行うため、県外の旅行関係者を招致し、造成されたメニューの実地検証を行うとともに、学校関係者等へのPR活動を行う。</p>								

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

観光政策課 (内線: 7637)

1目 観光費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「2009鳥取・因幡の祭典」支援補助金	10,000	10,000	0				10,000	
トータルコスト	11,657千円 (前年度 11,522千円)							
従事する職員数	正職員: 0.2人							
主な業務内容	補助金交付事務 (交付決定、実績報告審査、額の確定)							

事業内容の説明

1 事業の概要

中国横断自動車道 (姫路鳥取線) の開通を踏まえ、県東部地域の1市4町の住民や団体の連携により組織された民間主導型の実行委員会が実施主体となって開催される「2009鳥取・因幡の祭典」の取り組みに対して助成を行う。

2 平成21年度事業費

(1) 事業費 補助金10,000千円

(2) 補助対象事業及び事業費 (単位: 千円)

補助対象事業	事業費	財 源 内 訳	
		県補助金	実行委員会
オープニングイベント開催経費 (砂像制作体験、砂像の音と光のショー)	10,000	5,000	5,000
ジャンプアップイベント開催経費	10,000	5,000	5,000
合 計	20,000	10,000	10,000

(3) 実施主体: 2009鳥取・因幡の祭典実行委員会

(4) 事業実施期間: 平成21年4月~平成22年3月

(5) 補助率 : 1/2

<参考1> 2009鳥取・因幡の祭典の全体事業費 (単位: 千円)

区 分	事 業 費
イベント (砂像フェスティバル除く)	70,000
体験型観光 (周遊ルート、体験メニュー)	9,400
住民参画関連経費	12,600
広報宣伝関連経費	93,400
事務局関連経費 等	88,100
合 計	273,500

*その他、砂像フェスティバル関係経費は特別会計で計上。(214,000千円)

*上記事業費は平成20年12月時点での計画であり、今後変更の可能性もある。

<参考2> 2009鳥取・因幡の祭典に対する県の支援状況

(1) 「日本のまつり・2009鳥取」を県が中心となって開催

(2) 因幡の祭典実行委員会の要請を受けて、県観光政策課の観光コーディネーターが観光アドバイザーに就任 (観光メニューの商品化に向けて積極的に助言)

(3) 因幡の祭典実行委員会への参画

(4) 「2009鳥取・因幡の祭典」のPRの共同実施 等

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

中部総合事務所県民局（電話：0858-23-3952）

1目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 湯梨浜トライアスロン大会支援補助金	750	0	750				750	
トータルコスト	750千円							
従事する職員数	正職員： 0人							
主な業務内容	補助金交付事務							
事業内容の説明								
1 事業の概要 東郷池を周遊コースとして行われる湯梨浜トライアスロン大会を通じて、鳥取県及び鳥取県中部地域の魅力を県内外に向けて発信することにより、誘客の促進を図る。								
2 事業内容 （単位：千円）								
区分	内 容	県予算額						
		総額	H21	H20				
湯梨浜トライアスロン大会支援補助金	湯梨浜トライアスロン大会開催に係る広報、ボランティア経費の一部を助成。	1,000	750	250 (H20.11月補正予算で措置済み)				

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

1 目 観光費 <地方機関計上予算>

西部総合事務所県民局 (電話:0859-31-9769)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 大山パークウェイ構 想事業～スローな旅 で元気になろう～	1,700	0	1,700				1,700	
トータルコスト	6,671千円(前年度0千円)							
従事する職員数	正職員:0.6人							
主な業務内容	パークウェイ構想にかかる催事実施、連絡調整							

事業内容の説明

1 1 事業内容の説明

民間主導で進められている大山パークウェイ構想事業を、県内滞在時間の延長と食のみやこ鳥取推進の観点で協調推進するもの。

<事業のねらい>

- ① 蒜山から国立公園大山を經由して美保の関までつながる80キロの絶景ドライブルート
を大山パークウェイと名付け、エリアのブランド化による地域力向上を推進する。
- ② スローライフ・スローフードを打ち出し、地場産業の活性化を目指す。
- ② 「食」と「体験」で泊を延ばし、リピーターとファン層を拡大して、持続する経済
基盤を構築する。

※大山パークウェイ構想とは

道路管理上の理由で名称が統一されていない蒜山から国立公園大山を經由して美保の関までつながる80キロの道路を座標軸に、周辺地域を統一イメージによる地域ブランドとして確立して地域再生の起爆剤とするもの。

2 平成21年度事業費

(単位:千円)

区分	予算額	内 容
旅の専門家による 西部管内観光チェ ック実施事業	700	大山パークウェイをモニタリングして助言を仰ぐために、プロ 集団である日本旅作家協会(兼高かおる会長)の例会を当地に招 致する経費
フードアドバイザー による現地相談 会事業	500	大山パークウェイマップやパンフに掲載していくための地元の 飲食店やメニューのブラッシュアップをはかるために専門家であ るフードアドバイザーを招いて事業者との相談会を開催する経費
連絡調整費	500	関係機関及び関係者との連絡調整経費
計	1,700	

平成21年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費

4項 林業費

八頭総合事務所農林局 (0858-72-3843)

2目 林業振興費 <地方機関計上予算>

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考																								
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																									
(新) 森林セラピーの郷づくり支援事業	150	0	150				150																									
トータルコスト	3,464千円 (前年度 0円)																															
従事する職員数	正職員： 0.4人																															
主な業務内容	森林セラピーの普及宣伝活動、補助金交付事務																															
事業内容の説明																																
<p>1 事業の概要 智頭町が取り組む「森林セラピーの郷づくり」を推進するため、森林セラピーについて広く普及・宣伝するとともに特産品開発について支援する。</p>																																
<p>2 事業内容 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>業務内容</th> <th>事業主体</th> <th>事業費</th> <th>予算額</th> <th>補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森林セラピー支援会議</td> <td>森林セラピーの普及促進・宣伝活動の実施</td> <td>県</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>森林セラピー特産品開発支援事業</td> <td>スギ材容器等の特産品開発を支援</td> <td>智頭町</td> <td>100</td> <td>50</td> <td>県1/2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>200</td> <td>150</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区分	業務内容	事業主体	事業費	予算額	補助率	森林セラピー支援会議	森林セラピーの普及促進・宣伝活動の実施	県	100	100	—	森林セラピー特産品開発支援事業	スギ材容器等の特産品開発を支援	智頭町	100	50	県1/2	計			200	150	
区分	業務内容	事業主体	事業費	予算額	補助率																											
森林セラピー支援会議	森林セラピーの普及促進・宣伝活動の実施	県	100	100	—																											
森林セラピー特産品開発支援事業	スギ材容器等の特産品開発を支援	智頭町	100	50	県1/2																											
計			200	150																												
<p>3 事業期間 平成21～23年度 (3年間)</p> <p><参考>森林セラピーは、森林浴で得られる森林の癒し効果やリラックス効果を医療やリハビリテーション、カウンセリングに利用する療法 (セラピー：therapy)</p>																																

平成 2 1 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

東部総合事務所県民局（内線：0857-20-3655）

2 目 計画調査費〈地方機関計上予算〉

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取砂丘地域振興事業	1,000	250	750				1,000	
トータルコスト	10,942千円（前年度15,474千円）							
従事する職員数	正職員：1人							
主な業務内容	鳥取砂丘魅力アップ協議会の活動支援、市・関係機関との連絡調整、交付金交付							

事業内容の説明

1 事業の概要

鳥取砂丘周辺の観光関連業者と農業団体等が連携し、砂丘観光の新たな魅力づくり（砂丘らっきょう畑の活用、砂丘名物料理づくり等）に取り組む鳥取砂丘魅力アップ協議会の活動を支援するとともに、活動の定着、基盤の強化を図り、砂丘及びその周辺地域における観光業の発展、砂丘らっきょう等のブランド力強化等に資する。

2 事業の内容

鳥取砂丘魅力アップ協議会運営支援交付金を交付して、次の事業を行う。

事業主体	鳥取砂丘魅力アップ協議会 ※福部らっきょう生産組合長会、鳥取大砂丘観光協会、鳥取いなば農業協同組合福部支店、鳥取市観光協会等の19団体により平成20年7月に設立された団体（事務局：鳥取市観光協会福部町砂丘支部）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 協議会の組織育成 （会員を対象とした研修会、検討会の開催など） らっきょう畑を使った集客向上 （らっきょうとれとれフェア、らっきょうの花フェアの開催など） 砂丘の新たな食の充実 （鳥取砂丘カレーの振興） 鳥取砂丘をもっと楽しむ提案の充実 （ガイドブックの作成他による情報発信）
対象経費	協議会開催経費、研修会開催経費、イベント開催経費、情報発信経費
補助率	1/2（事業主体負担部分は除く。）
事業費	2,100千円 （財源内訳：県、鳥取市各1,000千円、事業主体100千円）

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

西部総合事務所県民局（電話：0859-31-9769）

1目 観光費＜地方機関計上予算＞

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
大山中海観光宣伝事業～大山中海がいな魅力の発見&体感大作戦～	16,620	11,620	5,000				16,620	
トータルコスト	20,763千円（前年度15,600千円）							
従事する職員数	正職員：0.5人							
主な業務内容	大山中海圏域の観光的魅力のPRにかかる補助金、協議・連絡調整業務							
事業内容の説明								
<p>1 事業の概要 大山中海圏域で行われる全国規模の大会やイベント等を通じて、地域の観光魅力を情報発信しPRする事業。 平成21年度は新規に、全国規模のスポーツ大会「皆生大山 SEA TO SUMMIT」及び映画「銀色の雨」全国上映とタイアップした情報発信事業を行う。</p>								
<p>2 平成21年度事業費 （単位：千円）</p>								
区 分	予算額	内 容						
皆生トライアスロン協会補助金事業	10,000	第29回全日本トライアスロン皆生大会の広報宣伝活動を支援するための皆生トライアスロン協会に対する補助金。						
鳥取県観光宣伝PR用DVD制作事業	1,000	県内で開催される5つのトライアスロン関係大会（ジュニアから障害者まで）をコンテンツに鳥取県の魅力を伝えるDVDを制作する経費。						
（新規）皆生大山 SEA TO SUMMIT 開催補助事業	1,000	大山周辺で日本国内初のカヤック・バイク・登山の複合大会「皆生大山 SEA TO SUMMIT」を行う実行委員会（体育関係団体、市町村等で構成予定）への補助金。 シー = カヤック競技（皆生～淀江） ツー = 自転車競技（淀江～大山寺） サミット = 大山登山（大山寺～大山山頂）						
（新規）映画「銀色の雨」公開タイアップ事業	4,000	県西部を舞台とした浅田次郎原作「銀色の雨」の映画公開に合わせて、地域の魅力を全国発信し誘客を図るもの。 ① 上映する首都圏の映画館での観光&物販ブース 出店委託経費 2,000千円 ② 映画ロケ地PR支援補助金 2,000千円 映画「銀色の雨」上映を成功させる会（仮称）へのロケ地PR経費の補助金						
連絡調整費	620	大山中海圏域の観光宣伝を行う事務的経費						
計	16,620							

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

1項 総務管理費

日野総合事務所県民局（電話：0859-72-2082）

15目 総合事務所費＜地方機関計上予算＞

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
日野地域情報発信強化事業	400	250	150				400	
トータルコスト	3,714千円（前年度 3,734千円）							
従事する職員数	正職員：0.4人							
主な業務内容	補助金交付業務、協議会開催、関係機関との連絡調整							

説明

1 事業の概要

日野郡の魅力ある地域資源を活用し、エリア全体の魅力向上及び交流人口増加による地域活性化を図る。

2 主な事業内容

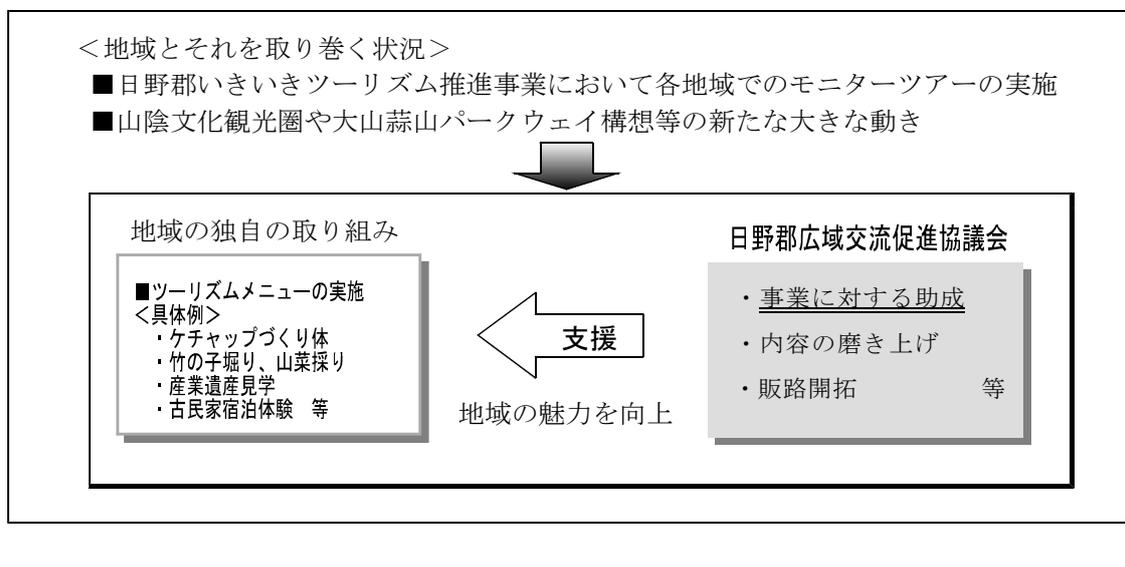
補助金名	日野地域情報発信強化事業補助金
事業主体	日野郡広域交流促進協議会
負担割合	1 / 2（ただし、300千円を上限）
対象事業	<p>(1) 日野郡交流促進支援事業（新規） 地域資源を活用したツーリズム等、地域が主体となって行う日野郡の魅力向上につながる取り組みに対して助成するとともに、協議会のノウハウ・ネットワークを活かした助言、アドバイスをを行う。</p> <p>(2) 広域エリア連携強化対策事業 来訪者ニーズの高い日野郡全域と周辺地域の広域マップを作成し、郡内へのより効果的な誘客及び日野郡内での滞在時間の増大を図る。</p> <p>(3) 観光振興策検討事業 日野郡観光の対外的な競争力の強化や効果・効率的な事業推進のために講演会、研修会を開催する。</p>

【日野郡広域交流促進協議会の概要】

《設立》平成13年11月19日

（日野郡広域観光推進協議会として発足し、平成19年4月27日に名称変更）

《会員等》日野郡内の事業者、商工団体、観光団体等多分野の機関で構成される。（29団体）



平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

東部総合事務所県民局（内線：0857-20-3655）

2目 計画調査費（地方機関計上予算）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取砂丘・山陰海岸 （浦富海岸）周辺地域 振興事業	1,000	528	472				1,000	
トータルコスト	7,628千円（前年度3,573千円）							
従事する職員数	正職員： 0.8人							
主な業務内容	関係機関との連絡・調整、出前説明、補助金交付・支援、研修会開催							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
山陰海岸の世界ジオパークネットワーク加盟に向け、その魅力を県民に広く知っていただき、機運醸成を図ると共に、ジオツーリズムの開発、振興、普及啓発のための地域での創意工夫ある取組みを支援し、ジオパークを通じた山陰海岸周辺地域の振興を図る。								
2 事業の内容 （千円）								
区 分	予算額	事業内容						
ジオパーク出前説明会の開催	10	ジオパークの普及・啓発を図るため、山陰海岸ジオパーク推進協議会加盟民間団体（観光協会、商工会議所、商工会、漁協等）等を対象として出前説明会を開催する。						
ジオポイント研修会の開催	190	山陰海岸の魅力を県内外の多くの人に伝えることができる観光事業者（旅館、ホテル、バス、タクシー等）を対象としてジオポイント（鳥取砂丘、浦富海岸、白兔海岸、湖山池、多鯰ヶ池、扇の山等）の地質面での特徴を広く知っていただき、ジオツーリズムの振興につなげるための研修会を開催する。						
山陰海岸ジオツーリズム振興補助金	800	民間の新たな創意工夫ある取組みと行政との協働により山陰海岸ジオパークエリア内でのジオツーリズムの振興を図ることを目的として、補助金を交付する。						
		対象者	NPO、ガイドクラブ、観光協会、民宿等で組織された団体、漁協、地域住民で組織された団体等					
		対象事業	現地体験型メニュー					
		事業要件	・山陰海岸のジオパーク推進につながる内容であること。 ・将来的に独自の取組みにつながる試行的な内容であること。					
		対象経費	遊覧船借上料、バス借上料、講師謝金、保険料、原材料費、事務費、費用弁償等					
		補助率	10/10					
		限度額	200千円					
予算額	800千円（200千円×4事業）							
合 計	1,000							

平成 2 1 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

観光政策課（内線：7638）

2 目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとりの民工芸振興事業	2,249	1,819	△ 430				2,249	
トータルコスト	18,819千円（前年度 17,043千円）							
従事する職員数	正職員：2.0人							
主な業務内容	事業の企画、関係機関との連絡調整、ホームページの管理・運営等							

事業内容の説明

1 事業の概要

本県にとって貴重な財産である和紙、緋、陶磁器、木竹、玩具等の民工芸の持続可能な自立を達成するため、情報発信、愛用促進、展示、人材育成、記録保存、マスコミ誘致等の事業を行う。

2 平成 2 1 年度事業費

（単位：千円）

区 分	事業費	内 容
(1) 情報発信事業	171	①とりネット公式サイトホームページ「とっとりの手仕事」を運営し、県内民工芸に係る情報を広く発信する。 ②県内の民工芸品販売箇所をPRする「民工芸マップ」を作成・頒布する。
(2) 愛用促進事業	106	民工芸品を積極的に記念品・調度品等に利用するため、民工芸品情報や活用案・事例集が一覧できるデータベース「つかいもんデータベース」を運営し、庁内での愛用を促進する。
(3) 民工芸展示事業	400	高校・大学生等の若年層対象の「パネル巡回展示事業」と、広く県民を対象とした「公共施設展示事業」を実施し、民工芸に対する理解と関心を深めるための触れ合いの場を創出する。
(4) 人材交流・育成事業	117	作り手の交流と情報収集のため、伝統工芸又はデザイン分野の講師を招聘して研修会を開催する。（民工芸品生産者約30～40名を対象に実施）
(5) 記録保存事業	725	後継者難の民工芸の制作工程を映像で残し、公開することで活性化を図るため、「民工芸技術デジタルアーカイブ化事業」を実施する。
(6) マスコミ誘致事業	730	世界的な民芸ブームの中で、本県を「民芸の地」としてイメージ付けるために、専門誌、生活情報誌等を誘致する。

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

2項 工鉦業費

2目 中小企業振興費

市場開拓室（内線：7832）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	そ の 他	一般財源	
手仕事担い手育成支援事業	6,096	7,939	△1,843				6,096	
トータルコスト	11,067千円（前年度 13,572千円）							
従事する職員数	正職員：0.6人							
主な事業内容	関係事業者との連絡調整、補助金業務							
事業内容の説明								
<p>1 事業の概要</p> <p>県内の優れた技能を次世代に引き継ぐため、手仕事等の担い手（後継者）育成に取り組む市町村、事業主等に対して、研修等に要する経費の一部を支援する。</p>								
<p>2 事業内容</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p>								
事業名／助成期間	実施主体	助成内容		予算額				
研修・滞在経費助成 （1ヶ月～24ヶ月）	研修受入先団体 市町村	事業主体が研修従事者に支払う研修・滞在経費（100千円/月以内）の1/2を助成 （県外からの同伴家族1名につき30千円/月上乗せ）		3,600				
家賃助成 （1ヶ月～24ヶ月）	研修受入先団体 市町村	事業主体が研修従事者に支払う家賃（20千円/月以内）の1/2を助成		120				
受入先助成 （1ヶ月～24ヶ月）	団体 市町村	研修受入先への助成額（50千円/月以内）の1/2を助成		450				
公募広告	—	研修従事者の公募に係る広告委託		118				
伝統産業人材育成県外派遣事業	団体 研修者	伝統工芸士の後継者が行う県外研修に対し支援（2年以内、月5万円、2名）。 @50千円×12月×2名=1,200千円		1,200				
技術研修会の開催	組合等	因州和紙や弓浜緋などの国・県指定伝統工芸品製作の重要な技術・技法の継承を図る。 @150千円×2件=300千円		300				
事務費				308				
合 計				6,096				

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

2項 工鉦業費

2目 中小企業振興費

市場開拓室(内線:7832)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	そ の 他	一般財源	
弓浜絣産地維持緊急対策事業	5,822	5,822	0				5,822	
トータルコスト	11,622千円 (前年度 11,531千円)							
従事する職員数	正職員:0.7人							
主な事業内容	関係団体との連絡調整、補助金業務							
事業内容の説明								
<p>1 事業の概要</p> <p>昭和50年9月に国の伝統的工芸品の指定を受けた「弓浜絣」が事業者の減少、従事者の高齢化等により産地の存続が危惧される状況にあることから、協同組合が主体となり県の弓浜がすり伝承館(昭和44年建築)を活用した人材育成等を図る取組に対し、県・地元市(米子市、境港市)で支援する。</p>								
<p>2 事業内容</p> <p>事業の形態:弓浜絣協同組合が事業実施。(施設(弓浜がすり伝承館)を組合へ無償貸付) (単位:千円)</p>								
事業名	内 容						負担割合	予算額
後継者人材育成	弓浜絣の後継者を育成するための研修を実施 ・研修内容 手仕事による技法の習得等 (週5日、3年間) ・研修期間 平成19年9月～平成22年8月 ・研修生 3名 ・講師 嶋田悦子氏(鳥取県無形文化財保持者)						県1/2、 両市1/2	2,707
研修・滞在費支援	研修・滞在費、家賃助成(3名)						県1/2、 両市1/2	2,160
事務費							県	955
合 計								5,822
<p>(参考) 弓浜絣の普及啓発及び施設・設備の共同利用は、弓浜絣協同組合等で実施</p>								